



オーナーズガイドンス

- ご来院の際の注意点
- 狂犬病予防注射について
- ワクチン接種について
- フィラリア検査・予防について



オーナーズガイドンス

ご来院前にご一読ください。

* 診察に来られる前に・・・

動物はことばがしゃべれません。必要な事はできるだけ注意深く、多くの情報を教えてください。事前にメモを取っておいても良いでしょう。

いつからか

どんな具合か

以前にも同じ症状があったか

他の病院で受診されていますか

現在飲んでいる薬の名前等

診察はできるだけ、いつも様子を見ている方がお連れ下さい。

動物病院には様々な種類の動物が集まります。

来院される皆様がマナーを守って、気持ち良く受診していただきたいと考えています。

ワンちゃんはなるべく、リードをつけてください。ない場合、小型犬はキャリーバックに入れてください。

ネコちゃんは逃げ出したりする場合があります。キャリーバック、または猫袋（洗濯ネット）に入れてください。

その他の動物はゲージに入れてください。

他の患者さんとトラブルにならないように気を付けてください。

動物病院は様々な動物のニオイがするため、気になっておしっこなどをしてしまう場合があります。事前に排泄は済ませてください。

診察内容により順番が前後する場合があります。ご了承ください。

薬、食事のみの場合、事前にお電話いただいた方が待ち時間が少ないかと思えます。

* 待合室では

リードを短めに持ち、あちこちに動き回らないように配慮しましょう。

ペットは人が座る椅子には乗せないようにしましょう。

他の患者さんの迷惑になりますので携帯電話のご使用はご遠慮ください。

排泄した場合はスタッフまでお申し付けください。

待合室で待てない場合はお車でもかまいません。受付問診時に車番をお申し付けください。駐車場でお待ちになる場合は、車の出入りにご注意ください。

ご質問、ご意見ありましたらスタッフまで。



* 狂犬病予防注射について

狂犬病予防法で生後90日を越えた犬は、狂犬病の予防接種が義務付けられています。

日本国内で狂犬病の発生は、昭和32年以降ありません。

しかし、海外では多くの国で今なお発生している病気です
年1回の予防接種を行いましょう。

初年度の予防接種の際には、市町村への登録申請も必要になります。

登録申請は当院で行います。

翌年以降は、お住まいの市町村からお知らせのお葉書が届きますので、お葉書ご持参の上、ご来院下さい。

◆当院での狂犬病予防注射が可能な市町村

加古川市・高砂市・加古郡播磨町・加古郡稲美町・明石市・小野市・加西市・姫路市

* 混合ワクチン接種について

◆当院での混合ワクチンの種類

【犬】 8種混合ワクチン

犬ジステンパー・犬アデノウイルス2型感染症・犬伝染性肝炎・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病〈黄疸出血型・カニコローラ型〉

【猫】 3種混合ワクチン

猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症

【フェレット】 5種混合ワクチン

犬ジステンパー・犬アデノウイルス2型感染症・犬伝染性肝炎・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症

混合ワクチンで予防できる病気の中には命に関わる病気も含まれています。

ただし、ワクチン接種をしていれば、100%感染しないわけではありません。

万が一、感染しても発症しない様にまたは発症した場合でも軽症で済む様にするためのものです。

◆接種時期について

子犬 生後2ヶ月頃に1回 1ヶ月毎に1~2回の計2~3回

子猫 生後2ヶ月頃に1回 1ヶ月後に1回の計2回。

その後は、年1回のワクチン接種を行いましょう

初めてワクチンを接種される方は、パンフレットを用いてご説明いたします。



* フィラリア検査・予防について

◆フィラリア感染経路

フィラリア症は蚊が媒介して感染します。

蚊がフィラリアに感染した犬を吸血する際、子虫(ミクロフィラリア)が蚊の体内に入ります。

蚊の体内で子虫は幼虫(感染子虫)に成長します。

幼虫を持った蚊が健康犬に吸血する際、幼虫が健康犬の体内に入ります。

幼虫は成長し、成虫になり心臓に寄生します。

オス・メスの成虫がいれば新たに子虫を生み出します。

◆フィラリアの症状

元気がなくなる

散歩に行きたがらない

食欲低下

ゼーゼーした咳をする

腹水が貯まる

体重の減少

毛ツヤが悪くなる

貧血を起こす

血尿

◆フィラリア検査

毎年フィラリア薬の投薬前に血液検査でフィラリアの感染有無を確認する必要があります。

当院でのフィラリアの血液検査には2種類あります。

フィラリア抗原検査のみ ¥1500

フィラリアセット検査 ¥2000 期間限定：6/30まで

⇒フィラリア抗原検査＋生化学検査12項目

対象動物：犬（フェレットはフィラリア抗原検査のみになります。ご了承下さい。）

※ 生化学検査は全体の血液数値を基本数値と比較した報告書を2～3週間後にご自宅にお送り致します。

この機会に健康診断も兼ねてセット検査をお勧め致します。



◆フィラリアの予防

毎月1回の投薬によってフィラリア症は予防できます。

フィラリア薬は、フィラリアへの感染を阻止するものではありません。

犬の体内にいるフィラリアの幼虫を月1回の投薬で駆除するためのものです。

ですから、投薬は蚊が出始めた1ヶ月後から蚊がいなくなった1ヵ月後まで必要になります。

当院の近辺地域での蚊の発生は4月～11月頃までです。

ですから投薬は5月～12月までの毎月1回合計8ヶ月間必要になります。

途中で投薬をやめてしまうとそれまでの投薬が無意味になってしまう可能性があります。最後までしっかりと投薬してあげてください。

◆当院でのフィラリア薬の種類

種類	モキシデック	ミルベマイシン	システック	イベルメック
形状	錠剤(月1回)	錠剤	錠剤	チュアブル
効能	フィラリア症	フィラリア症 犬回虫 犬鉤虫 犬鞭虫	フィラリア症 犬回虫 犬鉤虫 犬鞭虫 ノミの卵及び幼虫	フィラリア症 犬回虫 犬鉤虫